

令和元年度 研究推進だより

# のびのび石川っ子

令和元年12月24日

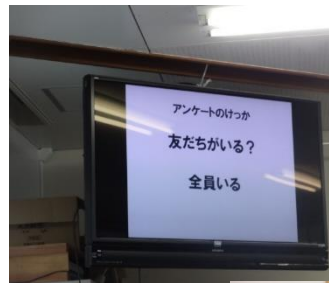
2学期は4学級が道徳の授業研究を通して、ねらいにせまりながら資料を読み、自分の行動を振り返る場面を仕組むことで、自分事として意見を持ち、友達と交流して考えを深める授業実践を積み上げてきました。また、道徳的価値を意識した行事や異年齢での活動、話し合い活動を仕組み、主体的で充実し、温かい人間関係を築いていくことを目指して進めてきました。その一端を紹介します。



## <公開授業の様子> 3年「なかよしだから」

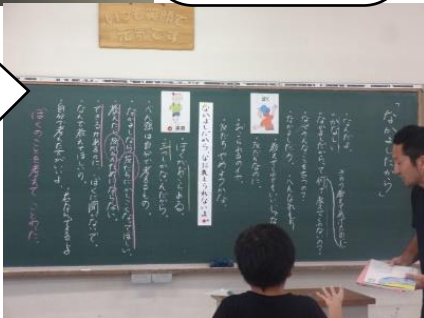
【あらすじ】

宿題を忘れた主人公のぼくは、友達の実さんに「答えを教えて」と頼むが、「仲良しだからなお教えられないよ」と断られた。宿題をやり終えたぼくを見てにっこりする実さん。そんな実さんの態度にぼくはそっぽをむいてしまったが、家に帰ってなぜ「教えられないよ」と言ったのか考え込んでしまった。



導入では、事前にとっておいた「友達とはどんな人？」アンケート結果から入ります。

担任は児童の発言を黒板にまとめ、児童の考えを深める手立てとします。



教材文を通読し、主人公の気持ちの変容を話し合います。

## <授業研究の様子> 1年「こころはっぱ」

【あらすじ】

みんなの心の声が聞こえ、楽しいと明るい色の葉っぱに、悲しいと寂しい色の葉っぱになる「こころはっぱ」がある。寂しそうな様子で友達が欲しいのししくんに、うさぎちゃん、たぬきくん、きつねくんの3匹が「友達になって」「一緒に遊ぼう」と声をかけ、友達になる。こころはっぱの色は何色になったのでしょうか。



主体的に自分の考えを自分の言葉で話しています。



終末では、写真を見ながら学校生活を振り返り、友達がいてよかったなあと思うことを交流します。

京都府総合教育センター長島研究主事兼指導主事先生に来ていただき、道徳の授業について教えていただきました。

## <公開授業の様子> 6年「手品師」

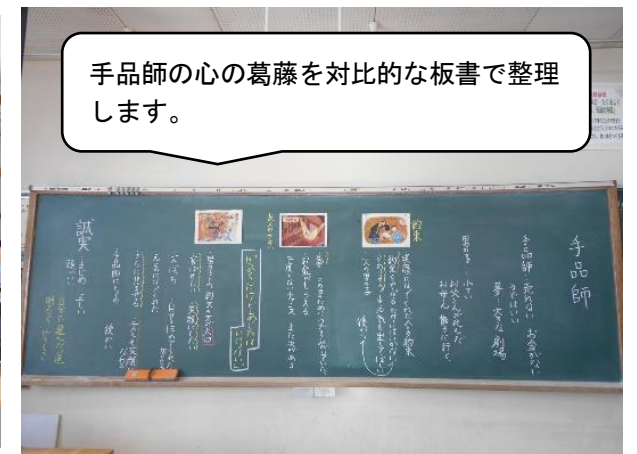
【あらすじ】

腕はいいがあまり売れない手品師がいた。ある日しょんぼりしている男の子に出会い、手品を見せてやると男の子は元気を取り戻したので、次の日も手品を見せる約束をした。その夜、友人から大劇場に出るチャンスがあることを知らされた。大劇場のステージか、男の子との約束かで悩むが、男の子との約束を選び、次の日、たった一人の小さなお客様を前に演じる。



私にとって誠実とは…

手品師の心の葛藤を対比的な板書で整理します。

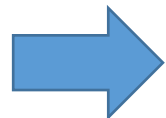


<公開授業の様子> 2年「おれたものさし」

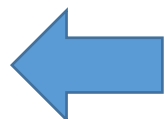
【あらすじ】  
先生のものさしを折ってしまったのぼるが、弱い立場のひろしのせいにする。それを見ていたぼくは、以前同じように割れた下敷きを自分のせいにしたことを思い出す。はじめは気持ちが揺れ動くが、やがて毅然として折れたものさしをのぼるに渡す。



ワークシートに自分の考えを書きます。



ワークシートに書けた人から近くの友達と交流します。



全体で交流し、自分の考え方を深めます。

<異年齢活動の充実>

チームで植えたさつまいもを掘り、収穫祭を行いました。〇×クイズやじゃんけんピラミッドの全校遊びをしてから、ふかし芋をみんなでおいしくいただきました



<対話的な掲示板コーナー>

掲示板を使って各学年の取組を発信しました。感想を書いたり「いいね」を貼ったりして参加型の掲示板を目指しました。掲示物のクイズに参加し、正解者を放送で紹介することもありました。児童同士が双方向の感情交流をすることができました。

6年 打ち鳴らせ石川エイサーの響き

これは〇〇さんだ！



2年 町たんけん

読み手にそれぞれの地区のおすすめの場所を書いてもらいました。



ひまわり学級 レクレーション交流会新聞

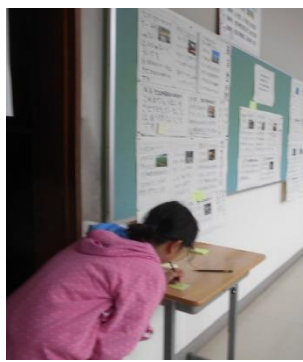


写真を貼って様子が分かるように工夫し、一生懸命伝えようとしています。

5年 社会見学まとめ

3年 石川の自まん

校区にある店や農園を見学させてもらったことを新聞にまとめました。学習発表会でも発表しました。



大阪に社会見学に行って学んだことを新聞にまとめました。感想やクイズの答えを放送で紹介しました。